

日増しに寒さも厳しくなり、日本各地から雪の便りが届くようになりました。

早いもので今年も余日わずかとなりました。

先生方をはじめ、皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

本年も、当院の連携業務にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

「麻酔医」ではなく「麻酔科医」として



麻酔科部長 兼 中央手術部部長 伊藤立志

過去、完全な公立病院時代にも常勤のいなかった麻酔科の常勤医師として、2014年1月より勤務致しております。元々東海地方は他の地方と比べても麻酔科医の少ない地域であり、大都市である名古屋市も決してその例外ではありません。以前脳外科医の友人から、愛知県内のそこそこの規模の病院でも自ら全身麻酔をかけて開頭手術をすることがある、という話を聞いて驚愕したことがありました。例えどんなに優秀な人であっても、麻酔をかけながら大きな手術をすることは大変なストレスであったことが予想されますし、優秀だった彼に間違いはなかったとは思いますが、それが患者さんの不利益につながる事はなかったか、と懸念されたのを思い出します。

既に四半世紀前ですが、私は名古屋市内の総合病院での研修医生活を終えてから郷里を離れ、これまで主に東京の総合病院で仕事をしてまいりましたので、「地域の病院」の常勤医師として働くのはこれが初めての事になります。麻酔科常勤医師が10名以上いる大病院との違いは多々ありますが、例えばこれまで「麻酔科医」と呼ばれる事はあっても「麻酔医」と呼ばれる事はまずありませんでした。緑市民病院では生き延びてきた呼称ではありますが、これまで麻酔科の常勤医師が不在で、外科系医師が麻酔を担当する事が珍しくなかった、という事情を反映しているのだと思いますが、少々複雑な気持ちにはなりました。

自宅に近い地域の「市民病院」で手術を受けたい、という根強い要望があることも知りました。独居のご老人、老々介護世帯の方、施設で受傷された方等々、毎日出会う患者さん方の姿は少子高齢化社会の縮図でもあります。そこで自分が何を成し得るか、日々自問しながら仕事をしています。患者さんが回復してゆくお手伝いをしながらも実は救われているのは自分自身であることも感じつつ、時間が過ぎる速さにも驚く次第です。

緑市民病院麻酔科は長崎・梅田の2名の非常勤医師の力も借りて、月曜日から水曜日までは毎日2名体制で手術に対応しておりますが、木・金は1名体制となります。なお私を含め3名とも麻酔科専門医です。

麻酔科の術前外来も行っていますが、月・火・木の午前のみで基本的に各科からの紹介で行っています。術前外来を受診されなくても、手術前日の術前回診を必ず行っています。術後回診も欠かせませんが状況により疼痛コントロールのお手伝いや呼吸循環管理のお手伝いをさせていただく場合もあります。

これからもご指導ご支援いただきたく、何卒よろしくお願い申し上げます。



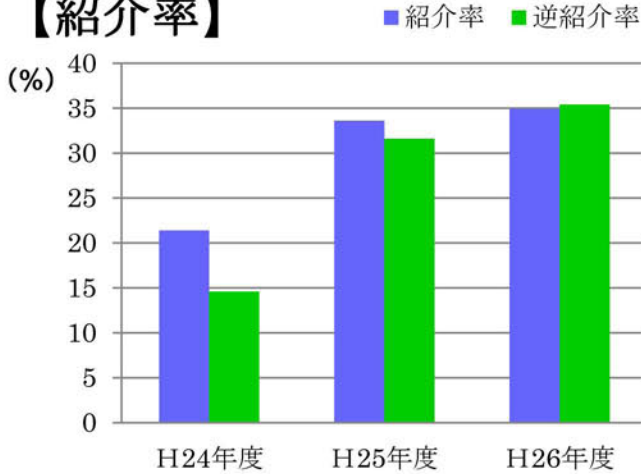
医療統計



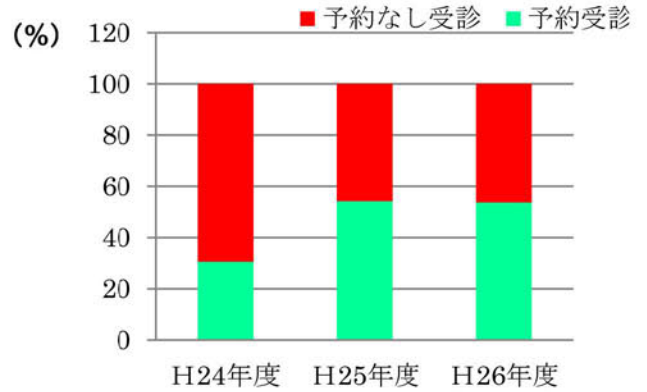
※H26年度統計は4月～10月実績
数値は月平均



【紹介率】

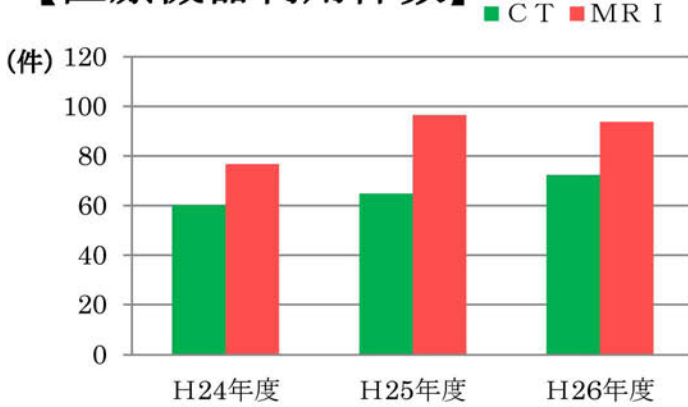


【紹介患者予約率】

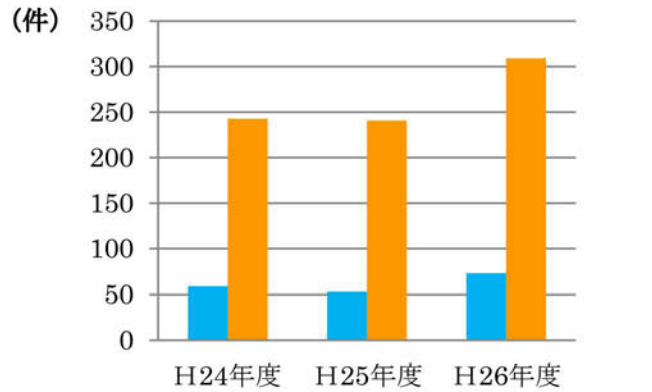


※ 地域医療支援病院の紹介率で計算

【医療機器利用件数】



【医療相談件数】



第11回地域医療研究会のお知らせ

下記のとおり、地域医療研究会を開催させていただきます。
ご多忙の折、誠に恐縮ではございますが、万障お繰り合わせのうえ、ご出席賜りたくご案内申し上げます。

日時：平成27年1月21日(水) 19:30~21:00

会場：名古屋市立緑市民病院 北館4階 講義室

特別講演 『在宅における感染対策』

名古屋市立大学 看護学部 感染予防看護学 鈴木 幹三 先生

※当研究会は日本医師会生涯教育制度の1.5単位が取得可能です。

※当日は軽食をご用意させて頂いております。



退任のお知らせ

診療科：脳神経内科

役職名：部長

医師名：入谷 克巳

備考：H26.12.31付

地域包括ケア病棟のお知らせ

当院は、在宅復帰・社会復帰を実現する為に、
①急性期後の受入、②在宅復帰支援、③在宅患者等の救急対応の、
役割、機能を果たす、後方支援病棟として、「地域包括ケア病棟」
を配置しております。
詳細につきましては、地域医療連携室までお気軽にお問い合わせ
ください。

【お問合せ窓口】 平日：9時から18時 土曜日：9時から12時